

前期基本計画進捗状況評価シート

施策名	目標 (KPI)	総合戦略	当初値	目標値	実績値【R3】	令和3年度の取り組み状況	今後の取り組み	担当課
【5】安全で安心して暮らし、過ごせるまち								
(1) 消防・救急体制の強化	予防査察件数		327件	500件	219件	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、約5割程度着手することができなかった。着手できたものに関しては、可能な限り感染症対策を取り、予防査察を実施した。併せて、重大違反対象物に関しては、公表制度を活用するとともに、迅速かつ効果的に違反処理の対応を図った。	年間査察計画に基づき宿泊施設、危険物施設への査察を実施する。違反施設には熱海市火災予防違反処理規定に基づき迅速かつ効率的に違反是正を図る。また、新型コロナ感染状況を踏まえながら積極的に実施していきたい。	消防総務課
	住宅用火災警報器設置率		71%	90%	85%	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、各種イベントが中止となり広報活動は出来なかったが、継続している火災予防期間中の市内大型スーパーのレシートへの広報活動や路線バスでのアナウンスを実施した。	住宅用火災警報器の未設置世帯等に対して、設置していただくよう普及啓発を行うとともに、既に住宅用火災警報器を設置している世帯に対しては定期的な作動確認や設置から10年を経過した本体の交換を推進するなど適切な維持管理に関する取組を継続して推進していく。また、新型コロナ感染状況を踏まえながら積極的にイベントを活用し普及活動を行ってきたい。	消防総務課
	救命講習修了者数		549人	760人	27人	7月3日の伊豆山土石流災害対応と新型コロナウイルス感染拡大防止（市民との接触を避ける）ため講習を中止とし、令和3年度に計画していた5回の定例普通救命講習の内2回のみ開催となった。	令和4年度は、定例普通救命講習の開催を6回とした。また、定例講習以外の講習依頼については、感染防止対策を講じ柔軟かつ積極的に開催して応急手当の普及に努めていく。	消防総務課
(2) 防災体制と地域防災力の向上	市民等の防災意識高揚を目的とした講演会及び出前講座開催数		15件	25件	2件	マンションにおける防災訓練時に防災講座を開催 地域防災訓練時に泉地区で防災講座を開催	町内会、学校、施設等における防災訓練時やイベントなど集合する機会を捉えて、防災講話や出前授業などを積極的に行う。	危機管理課
	地域防災訓練の参加自主防災会数		57団体	65団体	42団体	12月第1日曜日「地域防災の日」にあわせ、当日及びその前後において、各地区の特性を生かした訓練が行われた。	災害種別に応じた訓練など、平時における災害への備えについて積極的に働きかけを行う。	危機管理課
	安全性について満足と感じる市民の割合		48%	60%	52%	自主防災会における防災資機材等の整備が進み、自助・共助の取り組みが浸透している。	令和3年7月伊豆山土石流災害により、地域の安全性について不安を抱える人が多くなったと推察される。警戒避難体制や自助・共助の取り組みの周知を図る。	危機管理課
(3) 安全・安心な暮らしの充実	刑法犯認知件数（平均）		238件	200件	163件	市民安全大会や同報無線による防犯広報等を通して、特に件数の多い特殊詐欺に対する注意喚起を行った。	市民安全大会でののぼり旗の掲示や啓発品の配布に努め、市民の特殊詐欺に対する防犯意識の向上を図る。	危機管理課
	運転免許証返納件数（累計）		788件	1,000件	310件	高齢者を対象に婉曲的に免許返納を促すチラシを交通安全指導員と協力して配布した。	交通安全運動等において、高齢者の交通事故防止を呼びかける一環として免許返納についても呼びかける。	危機管理課